雜口集

へ5
2199
2

門へ利5
2199
巻 2上

河田丁

雜ロ集巻之下

播磨　樵風著

題播磨塩集
壱度句帖序
螢燁
俳子駄句帖序
哀情
俳俎
漫燁

枕詞
送加賀北海序
福禄寿賛
献本多君侯恠葱韮鬢魚辞
寿菅原禮輿父古稀
賀菅原保貞還暦
寄四竹山人辞
王昭君賛
偶作牡丹辞
遊嵐山序　並餘興

播磨恠集

播磨恠集
汲古斎主人の序を乞せてのむ　某
宝暦癸丑孟春恠人の序を乞せてのむ　某
人物を形容する序
人物を形容する序
人物を形容する序

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業平と雲林院に花見てあるときに

伊勢物語自序

むかし男ありけり人を思ひ侘びて侘むし人を思ひ侘びて侘むし人を思ひ侘びて侘むし

注うまゝあくの屏風ゝ金もちて夜ゝふるゝ紙ゝ
行ゝ夫嗚呼幻界の距ゝ中ゝふるゝ亀ゝ幻界
ハ絵ゝ伝ふゝゝゝゝゝひハ生を記むゝ行からゝし
ゝ物ゝあゝかゝゝぬゝゝゝあゝゝゝふゝかゝふゝいゝゝ
盃茶碗をてゝあゝゝぬゝハ新雪をゝふゝふゝるゝのゝゝ
ゝゝゝゝ一隅ゝかゝふゝゝを添ぬゝゝふゝあゝゝゝゝゝ二十
逢ゝゝゝの形ゝゝゝゝを生ゝゝゝてゝゝゝゝゝ花姫の雪
柳の例ゝ生ゝゝゝて何ゝゝゝ考ふ行ゝゝも生ゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ微ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

雪柳ゝのそんていはゝゝゝふ芳ひゝゝの

偶作

卒土の濃ゝ行ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

こかくらんとなん申ける所やうとあさくらうと
とをなんと弼宗をそそくあのくくこ麻呂をつて
あしめいりこの麻呂を意さとやうある男とあるぬ
きハあるるを清くくれいをやいさくう世を通
をし人をそれるいくくや深の栗をく鞍うう冨
士をくふをそかくをかくをくなる面小かけをくくと
多八解さくしのをてもいてとあをくし御をく
仲くあてのもしいのくせん京良房まぬるとを
あくおもむくをるくうかくくをくあるぬ
婦ハこの時を裾裾なるを多ぬるあしあけく

るとあしぬかくくくしを自くいるを多も既くをを
やちかくあくめくをくくをくしかを成ひを
限くく月ハ茎廣の梅るくらもむのくをくあるも
宵をハ花のをくもをくらん琴公爾くなしられ寒
まくを矢をを所ふさくなをめくおとひ竹くぬ紫く
不このくを為くて行やくて扇をくくて宮殿を作さ
と裾籠所に墨るもなくされハくくを歴せふ
らくもあしを古人の詩歌と粒おもむくをくをくるる
仰くれと鏗あのくくを風をかくくくを茅をくく
をくく釈の之慢くあくを不二少花をくくて生涯の二弧

[illegible]

[illegible]

[illegible]

冨士人の男めう徳付ものうら笑ひの茶碗の茶碗ハ枕もと
のかたかとうふあるを枕とせり孫子篇ハ耳を洗
さん用意とゑめきハ時々類りのと俗ゆるるの家
荘子の枕ハ無をなひ意まう枕の五十年一双
のむの弦子人の枕と俗ゆをかとらひ梅枕と
海士ためう梁をを抜人の出やうを目自此海枕
弦枕と新子のうをは子の枕とも孫子の者
の鮮るをおをらうを苦とはらのを甘ましれ
ともあるのをの者ハ拳てゆゆ者ふをみ力ものう
されハやし鄙酒をちのかをうてて毀をあらん

只詩人文士の凡もちきをく矣さんおをを畏る
古人ハきをやもやうあんとをふを駕を篇冨
あるんとをふをみあるみハ雖ん彩ゆ名を
枕をそを雖ふをを洗ハ永有永き枕の者ハ
やうあるるあるうを枕を友ををを海を歴を
うふむう一遥をハ仁義を枕をを浩然の者
を畏ひ智勇ハ蕃何を枕をを哭おの名を
奇為をほるの孫呉を枕をを子房の卧龍
孫あのう鼎の謀をるうう蔡沢稲ちハ舌を
呉とをを子里を盤旋王を説をまをを

みちちゝく茅ぶの書を枕とせるあるは又
額ひゝ[illegible]ゆ雅の[illegible]ふるうくハ老ゝト者
う大序を枕とし[illegible]ハ名譽をこのらふ者
蒙ゝ[illegible]ハ杜律ふ氏を枕とし俗世の蘊奥をき
きあくうゝ和歌のさゝやの外山も甲斐ゝ根を枕
とし[illegible]く春さゝ岩ゝ[illegible]ゝ東山ゝ[illegible]
せゝゝ[illegible]の雪安を[illegible]せゝ維摩ゝ解ゝ
ゝを[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
くハ四海のおゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ宇宙ゝ眠
を枕を[illegible]ゝ古ゝゝ[illegible]ある

大君ゝ富士[illegible]を枕とし半[illegible]ゝ[illegible]
あくゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ大古代ゝ[illegible]あ
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ハ
かゝゝけふさの[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ハ
きあゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ち代ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]の

送加賀国[illegible]小海[illegible]

ゝのふゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ハゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]ハふゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
一生ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

て世に出すなり。ハ僧の幻術と家業の
の術はなはだ変化術技奇〻実〻弟子にて孔子
は無人にて侍らすはまた昭の学中合せよ
あるるうめし雑俗ともかとらに家野そを
ぬるるく拾ふるる義ようこそ手なるのめ〻てらの名
山めをきハえんとゐもなのら書籍無人なし
のゆゆをそうらん幸小西老人にして之城侍を
らさう更ねを弟子四宮之一葉をもあるたれ
もえそうしさんはるとう雪侍の逆鉾のとうふく
こゆるにあるき大伝代の作ようそそそて人をも作

おのをもて化せうを東西南北を拾ふも拾ふ
往ようふるる家流を作ふて家家東海ハうふるふ
流繁ふうとハかくふんと作志ハとうを山門尼土のお
うむき あを京の鬼の洗澤も九山此岐と商人此恋
そそて往鉾の商を四く語られうと恨ふ〻く
時ふうめ〻吉之いそそ也三人行ふそ少ふあふと
老人ものと了時のかし業侍いをふをされて城侍
ふ空のふうめるるふうし城此ふうしとふるる
業屋のをを臣ふんと怪の墓ふを かろに多ハ拾
をすをもこのふををふく

かゝの梅は自然と枯せし杉なり

福孫寿徳の後

いらたかとのりるせ形と繁あしとて神を斎く後
らをたゝ繁は朱を奪ふと釈氏ともとゝ結す郷
堂と蒙む獣を所としてもしあらめてこのりるせ
みしくこゝろ見えうくおあしまち

献布多里候惜意辣鬣魚稗

物義の死を多ふ河豚は絞鞍をあらしく示こ
生蒸まゝ商の角ふむ侯ゝ鰒ものゝとして蕩ふ
惜あるを何ふきとゝふゆのしたまちさえう輔と賞
賞せらるゝ自清を秋の夕ハ東坡居士の綱のゝう
ゝ鱸を拳ゝうゝ加多武孤ら朱唐ゝ孤せらき
ゝ鰒をおむらの名をゝうゝ輔ゝ〳〵ゝ取をいの
んせいゝて賞せられぬて輔ゝ〳〵答ゝあハ賞をゝ多
時ゝらめらふ輔らしめ説宝ゝてもゝ自ゝ鱸茂
学て金鱸を解し拾ゝて孤ゝ乎ゝ多ゝ魚中
の一稲ゝて海士を威ゝおゝを鯨帆も敵て直ゝ多
けも賞す角ゝ時ゝふゝゝゝゝゝゝ輔らし
ふゝゝゝゝゝゝの大内代の自ゝゝゝ賞せんとやゝて
鷹ゝを多て包ゝて海士ら惜多ゝあり惜ゝ惜ゝ惜ゝて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

富士の高く春霞おのゝ子孫のつゝ忠信称ふと笑
士多くゝ住つゝ山民ハ皆ハ表す是ゆゑ見ふ見れ
俗くゝ知て見ふ見れ為をきりさとさいさめゝ なゝ
かの主の年ゝ業墨の郷を作り新ゝ得と見ふ見
と底筆かるれ人れ見ハ人れ笑む不ふ見ハ人れいやしむ
ふゝしさ終と為れハかゝる濁れハさゝる自と暗あの
めゝ学て九分おゝて学らさゝ目也変れ妙ゝ学の之健
ゝておくゝ墨磨の賀楚を研られる席ゝ風弱ゝ
ゝは思ふゝ主ゝゝるゝ時ゝを見ハふ見を猫
むふ見ハゝゝあゝひおのゝゝゝ九分の油るさりき

さ墨書ハゝゝゝと ふゝ言ハふ一猫一分不竹さゝ
学て学て主の弱まる不ゝあれハゝゝ語ゝく
看不ふれハ墨ゝ稽乎を為ゝみを孫ゝを拙
為ゝ弄し墨乎ゝく老を学人さ語れおさ
ゝ化物ゝ

ゝゝゝ中ゝ新為住れさゝゝく

家四年の人雑

貴士文人れ年を学ゝする中西探歩ゝを学ゝと
学れ破ゝの人墨の年を学ゝする中法学爽雑をゝ
ゝゝ行文新化を通ゝ於人人ゝの年を学ゝする中

消ゝ光る月は其年月新の度毎にはるハ清涼の年
みち流るゝ潮風の年毎に繁くうゐすハ清
しかるに大古聖人ハ爲て民を初て爲くるに
つゝ教をかゝけ和睦ともゝらに矢をるむ義を勵
茅を刈て安を求ゝ人を招ク毎の使ゝ為るめ
四年山人ゝ毎を初する藤永ゝ山人見ゝ只
山人の藤ハ竟のきゝ不ハのゝ不多のゝ不多
の白糸ゝ毎てゝ毎ゝ年ハ毎ゝ實ゝ毎藤の防
ハ毛ゝ毎ゝ毎

王昭君漢

好地の月花も十七せにのゝ足別ゝ世ハ毎ゝ
ゝも住ゝを京人ゝ者ゝ宮中ゝかゝらむみ一人みゝふゝく
清息にのゝみの塔ゝかゝあんみゝる

紫藤の花ゝ

保作牡丹浮

庭梅岩ゝの藤ゝ牡丹数茎ゝ石の住所ゝ極面
ゝ家ゝ毎ゝ人ゝ者ゝて茅ゝこのめゝ怨ゝこゝて
和ゝの花ゝ咲ゝて自ゝ人ゝと之のゝ者ハ人ゝ降も
ゝゝみゝ破ゝ時ゝ咲ゝ花ゝハ人ゝ樹ゝ時ゝ咲ゝ藤
ゝ言ゝ情ゝ人ゝ毎ゝ花ゝ毎ゝ生ゝ晩ゝ言ゝ

蕚をかゝえめるハおの屋をいとゝやさしく屋
さゝゝてふるゝはるをさそれゝ花陸土ゝゝいゝゝ本
苔苔とゝゝゝく枝葉せゝゝまゝハ梅も実をゝゝゝく
ゝくをゝゝせゝゝるハほゝほゝうまきやゝゝゝえ作ふ僕る
附録ふらゝゝゝゝゝ花ゝ一枝ゝゝとし花せゝゝゝ屋ゝ
ゝゝゝゝとゝゝゝゝゝめゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のみ延ゝゝ以為ゝゝゝふゝハ土人代ゝ苔ゝゝゝゝゝゝ
為域のゝゝゝゝさゝ子丈の枝みあゝゝゝゝゝゝゝ土
の半ゝのゝゝ枝をゝゝおゝ屋ゝゝゝハゝゝ花の屋
さゝゝゝ為ゝゝ基ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いゝゝこのさゝゝ奴とゝるゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
めゝ高ゝゝを業ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝハゝ枝みをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

おもひ合せて再歳慨序

高川や拾ひ〳〵やすかるまこの子

拾遺山序

花をたんとおもふ春の雨てふ花を乎んと
ゐるを〳〵拾遺山を拾ひ芳野を破やすく〳〵て碎まこの拾遺
ハ獨り新をもてるゆめ〳〵世ものを把ることなかれ
癖〳〵うるゆのうち世〳〵腹あり錦を掛をもてせ〳〵ハ往
昔の氣山徒らに世を掛を絡〳〵拙さを世〳〵俗にとも
業〳〵大堰川をいもたん接とはなる後日の俗をまてす
法師ハ尊えて說ハ俗〳〵拾遺山をやしまるゆめ

〳〵業掛秋の名業〳〵ゆゑ俗ある人〳〵の新〳〵蛙〳〵なる
〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵〳〵拾てをゆを業天保十一庚子の
ものを心谷仁科先生五十のかゝ〳〵紙ハ良辰をえら
ミ書んとを告あゆ先日何て良辰〳〵ゆ〳〵うん
ゆ業〳〵拾遺山花のもとを拾えんさを彩ふ妻とらひ
無とゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵業〳〵ものを〳〵ゆ自ものを已ゆ俗業
〳〵て〳〵〳〵と拾〳〵業告ゆ〳〵ぬいとやとて俗更て一
むをを〳〵を〳〵山を書〳〵〳〵拾をえら〳〵矢義拙を
業〳〵書新ゆて宴る碩書を献する俗文ハ破〳〵
業て〳〵ほむされと俗を春人とすを〳〵ハ〳〵〳〵〳〵と久

[illegible]

[illegible]

[illegible]

或曰餉ハ乾飯
又干飯ナリ
新飯ニハ餉ノ
字ヲ用ル也山田ノ
米を表記ス新
餉ノ字ハ人名
ノ如ク接形ノ
字ヲ人新ノ心
ハ字ハ若ク
字ハ若ク
新飯又餉ノ
字ハ若ク
ノ人新

三新ありしかども

岩山錄無

三月十二日正岩先生の壽宴ハおのゝ思ふ事ゝ
ゝ三月花の三新ありしを語り草ゝ
の新をもてのゝ人ゝ一山ゝ言ゝ月ハ花とあゝ光
ゝゝゝゝ人ゝゝ紙ゝゝ自下の風格ゝゝ
ゝの處をゝけゝ病ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ大堰の川ゝを及入樂ゝゝ時ゝ色葉をゝ
しゝ亀ゝ殺ゝ山川の蛙ゝゝゝゝゝ
ゝれハかゝるしゝをゝ言ゝ

院宣曰不飲酒者為思客

繼ゝ言ゝ言ゝゝゝゝゝゝ
月新ゝゝ新ゝゝ

菜ゝゝゝゝゝ

ゝゝ月ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
次山世ゝゝゝゝゝゝゝゝ
夕餉の菜ゝゝゝゝゝゝゝ
はゝゝゝ酒ハゝゝゝゝゝゝゝ
十三日ゝゝゝゝゝゝゝゝ

も殺されハすと大堰の川を流して花をあの人
ゆりぬ戸毛屋の瀑布ハ常世をてゝ時るハ水ふさかゝふ
せて一樹のゝ花ゝ枝多の面ゝ多ハ水もちらして
あゝふさとお志あるれとゝ花ハ一人者をら
ちるそらともちらゝハちらぬ松の色
はゝくゝ花山川のもやゝを入ゝ山ゝ入れめゝ川ハ
世世ゝゝされハ人ゝ山あゝやゝさゝゝ空らふ数世
ゝゝいふ白ハ岩ゝ山ゝ井ゝ住ゝ居ゝ住ゝ居ゝ山ハ
氣山と呼あせゝを後崎嶋の寄ゝ呼れ桜ゝ桜
し独ゝ世ゝ居ゝく宅を造ゝせゝ居ゝ氣山居を

殺ゝ宅氣山流ゝ住ゝ葬ゝ宅ゝ宅ゝ山と呼け桜
ゝとゝあゝかゝゝとゝ遠ゝゝるゝゝ面ゝ住ゝれ
ハゝゝゝの宅ゝ居ゝ人ゝゝゝ者ゝも初め十四ゝ不海ゝ行の影
ゝ明ゝ宅ゝ起ゝ色ハあゝゝ桜ゝゝ山ゝゝ紫ゝゝ宅ゝ桜ゝゝゝ
ゝゝ呼ゝけゝ面ゝゝゝゝ行ゝ川ゝ嗽き影を落ゝ寄ゝ京をゝ
ゝゝゝゝ遠ゝ桜ゝ顧れハ地ゝ居ゝを磨ゝて光ゝ流ゝゝゝ
ハ嫉妬女の嗟ゝ(ネタミ)ゝゝゝゝゝめゝ抱ゝゝて作ゝ生せゝかゝゝを
ゝのかゝ切ゝ行ハ後ゝ人ゝ新桜の供ゝ寄ゝ世ゝゝんゝゝて
ゝも新級のおゝれ半ゝれハ生ゝ泊ゝ命ゝゝゝゝ色ハ世ゝ一ゝ
ゝゝゝ面ゝゝゝとおゝゝ行ゝ妻婦(三人ノ女ノ心ヲヒトツニナ)のゝゝ寄ゝ来ゝ入れ

を窓前玲瓏（スキトホル）として[illegible]を[illegible]と[illegible]をむとをこの[illegible]を[illegible]家
[illegible]分て[illegible]佳人[illegible]ちあらんと[illegible]ると[illegible]月の[illegible]れ新
[illegible]と[illegible]をさらみをはきて[illegible]てゐれハ美人ハ美人ふ
[illegible]ハはらさるとりくさ〻命の花のうりて
[illegible]ゐとさかりて[illegible]ひらく小山を[illegible]とを[illegible]れ
[illegible]ハ[illegible]て[illegible]の世て[illegible]て小智妓王の[illegible]
[illegible]ひとりて[illegible]て[illegible]ハ[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]ゐ[illegible]れ[illegible]ち
[illegible]ハ[illegible]ハ古[illegible]と[illegible]て[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]て[illegible]の

内大臣実房公
歌三首後鳥羽
兼和漢

[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]の[illegible]一[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]を[illegible]て[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ゐ[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ゐ[illegible]ゐ[illegible]

ありて家山の麓に流れを汲む谷川ハ中と一際に金砂
まじりて清みて引うつる為に魚も多くとれ
下から茂の往来にて通る人外宮を敬ひ〻礼の家〻
海産を家〻ハむかいとて小魚煮る臭の薫しさく
摩をたきつけうちて盃を挙ぬ相手毒〻とし
て多く集のきさ〻ほ為をあつうをうて夕陽斜ふら
んとすれい先生先ず徐〻ぶりせらるさ為ハ霧
雲と風〻く深〻くるおてむ行く仰ぐ往て東山
先生ハ富士野にて外ナる先生相〻ぶれハ岩頂
山を〻〻〻〻かるまた本の高〻ら学生を〻〻学

かた〻紅葉ハ秋〻ろ〻〻雲を行〻り枝の三十六峰も何を
きれと〻〻〻海の中お行〻ふ岩山まて一瞬ゆ〻あ全
雲〻〻ゆ〻住境の桜〻いて可あらん紅葉を社紅を
く新中と行〻〻行〻人を指う新〻り小ハ東山の桜
行せんと四方家保先老人若〻紅葉て桜をわれ
ハ先生系を〻中〻行あんとむ生一為学仮と新を指り
て〻〻り中系〻〻〻れハ〻〻中〻ゆ〻おう紅
く武〻〻〻いくら数を〻〻あんと思ひ中〻ひ〻ハ今
新をきの〻〻〻〻ふきるのも〻〻為分〻作意甘〻
あて〻為見代の桜ハ六〻〻〻〻ものこさん、あ〻も

し矢代との秀弧の実京あるいはまたこれはまたひ彩色
の中二位ある矢吉はれ花の中く体らくハ彼方の文化は
ゆ丁えそのとうくいられハさるてはまたこうしやうえ
えてあ時の狩ひ松ゆらうきけえ道意さうこいの
子殿の高ともも力の彩うまきのうる彼うえの半らめやう
そうハ後の寂寞あれいしいやこ二軒茅屋の豆腐銭
含うんとつあ一もれハ一安も百安はそうもくやうし祇
園のつ内茶の含うえあ四乗彼るもおあうえ酒
を含りくえとと香かてうるけとひ後あひとうも
欲をハる内花して下戸あるれハ四乗を物と登一杯

のみ旋花旋も彼うとみ盃は無うとナ分の彼をとて
一時さく前くれハ有くへうて付枕のゆえうくと
毒見物とうめナうる新は名彼とてそうくとこうえ
すえもて九条ひのうもえめうるみ名ゆうて明るのを
うも酒くう彼茶らくう字彼くあむえと保るナもう新
をうえくえうめ祇園ら去うと彼るのひて上東京系
とうくうるめ子ハ老人とえ条は御くもれハ寂彼の名
は絵の名くうる彼半うて行既ひけの名うて新ハ明
彼う半う実也花の彼は彼ふとて咲うも屋うも山さ
えう彼は咲完花の彼ひうて吹言見えうみ中うう言

の[illegible]さえ[illegible]ふ[illegible]ある[illegible]ある[illegible]地も[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ

[illegible]ほぬハ延喜帝[illegible]さとの人[illegible]
[illegible]とうも秘めとつひ[illegible]の人[illegible]
[illegible]を伝[illegible]を世[illegible]
[illegible]と[illegible]ゆ大ハ[illegible]一[illegible]三井[illegible]
[illegible]
[illegible]井[illegible]
[illegible]ハ往昔[illegible]延の[illegible]ゆと三[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]の軽輕[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

や往古伐木の名所の女蕨式部と号しを蕨の名所田
かくと書れ宮ゝ所ら半ゝ書て蕨式部と号け上東門院ゝ
仕へ女の歌ゝて秋の月ゆゝよりかむゝ行ゝ中門須慶
ゝ名ゝ付ふゝ書ゝ仕ふゝ孫ゝ子十四帖の源氏ゝそも名琴の
歌謡ゝ記ハゝ代の名もゆゝしくゝかゝゝ古ゝと脚
色ゝ書ゝ書ゝ奪れて作ゝ書ゝ記ゝ作
ゝるゝ人もはゝとゝとふゝてゝ書ゝ作ハ翁ゝ
芽ゝ書ゝ式部のゝゝゝおゝれて山ゝ蕨ゝ作ゝて宮ゝ
川の名ふゝんゝと苗ゝ書ゝ山ゝ頂ゝ
松のゝゝハゝゝるゝ所ゝゝ僕ゝ肩ゝ免ゝゝ男ゝ

平ゝ書きゝ書て行ゝん和ゝる男ゝて田ゝ上ゝ
嶽ゝ書ゝ免幻住庵の系和ゝ書ゝ
ゝ山ゝと成ゝ所ゝ
ゝ作ゝの名ゝ所ゝて書ゝ
ゝ書ゝ
男の書ゝハ作ゝ書ゝ大川四ゝ中ゝ
る作ゝ書ゝて作ゝ
作ゝ大ゝ書ゝ成ゝ
ゝゝゝ書ゝ田田を作ゝ行ハゝ
ゝ書ゝ秋の所ゝ書ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

晩年田貸泉
八鍋し五雑俎
之ものなり

杭をんさ侍く治承のむかし此所に通系寄く題柔
さと契り杭をとりて蓊屋とて接席く此川の鮮魚を
貸人多く給して半ものしを平家物語を引かめ給ふの建せら
れ侍ると是は侍なを杭をハ芳時融公此所を尋ね
給ふ覧されおそれ侍て字治の院とつかと給ふと号
しハをつかく是字治ノ宇白拍子通て平家物語とあるを引
ら杭字治の里をさ侍しの名所白拍子のれと載義
ようをられハ略して南都とかくこ通ふるけ
をハ也あの里くかるつ川ゆをくて寄ともも
歌をさかるとあてあるのよ秀歌あつられ

山吹や杭おとりをるさかるまる
十九る大俗なれハかるうて作と引めをて清らるる
悟碧をのかふ高ふ此ハかるとを古人の附白此あつらけをハ
相沖の落らうさのそ杭ふ作を為めに恵るき芳
此会を杭銭をを午時に伊勢を百吉とのもく色
路ら俗ふをられ半く世るを氣ふるえ名れい事白あと
ふく奥稲ふ此南京半ふ作め半ふのハ元時を色
ら光仁をるをやて七代此杭をて此此杭かしこと
ふふおふをめ半ふ也はふるて家はふく家さを
思ふ付をて俗ふ選ふ南杭紙あれい止ぬさる俗

の世にをとこ来世にへあせしかをとうけし物とく
ゆくとき代の物らう者をとこ柱強久とに物ハつあ来
ゝてみとゝ保物の者ふ者ハきとにはあるハ池らを
来に山とれの生義とてるをとつふらし泳宮の社宮を
ゆの保大仏をるに山の神ハらもさらし行とあとをと
とふとよりも呼ふ保本さに里物をうあてられい媚女
藝妓うふ年に者もあ国をとあるも仲えて悔らし
むうふとをとちんのあのとをいつふとの回といとつ拝あに
とうかにをの新宮とおふしるの筆者あ後来坊
とらと保とあ者て宮者をあとて化とて地義を

一尺をかとに保ゝてをとるかに拝あ者とかをとてあを
と名ゝとも後来坊宮を原さひうけられ者ゝ保とてとを法
に地義とをとくらう嗚呼地義之器小さ哉かとうあき
とて嬰子に法者とを者ゝとを丈ハに保ふとを
鬼に母ふ者とも発むさんみさ保とやまとハのをう
拝の形とい来みに保上とおをえ付をとふとて世をとう
さとをくといつを古を拝里にゆう行とに橋とのうう
風的とをて初子に法者とおとうをれて拝真とあう
をれいをうまをけして行とをも拝とを人言をうとを
孙世る新をつけ学とうをれハ用拝ふを保て已的もかとむ

[illegible]て起ぬ午時のころ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ハ野山と雨
ふせこの果ヒケて昉アキラカ[illegible]れハ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ハ[illegible]

と仰せられもさることとおぼえて一生
懸命にて[illegible]ゆくに[illegible]
[illegible]しゆきられハ帰りゆくみるさまに雷さ
へきこえて電光と人もなるも初上[illegible]
[illegible]やそのあとハ塊くなるあらそひて人あるを
かるくかるをあつくなりて行ふるハ泥ゆるゆをそこと覚
えて辛くして行先山ふもとハ雷のもくさ
家を動るなハ陸海ハ[illegible]行佛無未時に
[illegible]をうるあ申時あらう時に行くもあいさ
や[illegible]の屋を砕んと砕ん[illegible]れハ[illegible]

と[illegible]く林聲さハやうるもされるうに回れ武士ふう
要人もおそるる家中[illegible]的かて各帝みれさく[illegible]
あくて生る家ととすくなるく人ふうう屋もふうえ弱
かて押くて中要人ち何を鬱久業ゝやと半ふる行
をハ眼鏡うるとなるあ[illegible]をおてふれ雑をかあ
れてハやとえるふ物のと眼鏡ハ先をうふうもて[illegible]佳
ふをいのきふよこうて仁ほ[illegible]使をいるうを受
ふ人を回りせてハ家使使ふうと学ふれハ例ふを
も眼るううハ下ふをふ人ほ眼ふおぼを上ふと敷ふ
利を含るふれハ可さ業ふのうと毀あふう[illegible]

そハ寡子を育むことさるて行ふ所なるうれ科なの
孫ゆゑ孫なれハ大賢聖人なをきいたもあり劉霞
子う賣柑者言うてるるのあるを孫ある人々のおハ英
うてかハ敗亡なれを行人を毀ようくを聖人ハ耳目の
めゑ武士を部ゑをなて已うかて已うををゑ
られ者うと矣ハ風を無ゑへめ世ゑる異ハかつをう行
れハ黄蒿の種孫ハの法あちゑ行神ゑう家ゑち
山ゑんふうてあるの光保ゑ者をふゑの丹山牧孫梅
のうゑをうしと赤きハ行れ陸うをてうとうれる山
つをひかの法をうてゑ廣る村ゑうハ庵の里ハ二

里をかう茅れ花今をさううと笑うてゑを睡をを昼
徒や徒者ゑうちのハ庵をもう風庵ゑやをうひ時
り雷ゑ野をもあるやあうゑ雑を到てゑを
とふうをとあうゑ戦きて法ゑる風庵れをう法
ゑうを世をのうあゑ者里れゑの雷鈴ゑ者て皆ら
を擂ゑ法をふゑをうて死せう人家殺行ゑるあの花
田玉の猛人ゑう今をゑ死を救をんと急を拙切つれ
をのう恨とうを世雷(マリハナ)ゑてをを世猛ゑめうをふゑるあを
しゑくかしをふゑめうゑてうをを雷ゑ恐ゑを立うく
ゑうをて種生ををくゑて行ゑ一人行をハ思うてをを世

あひしらとなかうみてく息災也種生まうあうらうから
やうなはいかもさらとをなとものもをきを人を蔵法をを
さうあてうと妙四玉者東撃うて実紙あらハ役ハ角
ともそる行せんみ侍侍あらハうの大分と異ん方紙
お集れ生を玉とのあるめるあを大むうハ角生れ医方あく
あを玉ハうあを医方うていを鄙の山あをとうる侍ひ
あうてなるハ大日実金れ生方あんとらみうハ学てうのと
ハあをとさうれてをとうもを生をあうこ新薬を
新久朝ひく倫浪町系を新ふうをくさうれハかめて
系代とあうる用務方とれうせあうてこんてうを盃盤を

田うく系こうふハ系部うを行あ〜やう学えうを乾
の結ううやいふせみうあ酒弱うをよハうれ新こうるの
をふもけを〜家うを仰うれをうう乾侍侍ふるの
う無系〜鳴呼うみを紙うてきのみの学をあふ
をうを

無印

雜に集巻之下終

弘化二乙巳年秋季新刻

播州曾根 入江氏藏版

大阪心斎橋通安堂寺町 秋田屋太右エ門
京三条通寺町西 丸屋善兵衛
同 寺町 野田治兵衛
江戸日本橋通壹丁目 須原屋茂兵衛
同 貳丁目 山城屋佐兵衛
同 芝神明前 岡田屋嘉七
同 石町十軒店 英大助

發弘書賈